

第2回東御市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定有識者委員会の概要について

日 時 平成 27 年 5 月 22 日（金） 10：00～12：00

場 所 市役所本館 2 階 全員協議会室

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 会議事項（総合戦略政策パッケージ（案）について）

【説明要旨】

総合戦略の政策パッケージ（案）について

4 つある基本目標の基本的方向や目標値を示し、具体的な施策をそれぞれの担当課長より説明した。

●基本目標 I 「とうみにおいて安定した雇用を創出する」

- ・施策① 「働く場の創出」
- ・施策② 「企業支援」
- ・施策③ 「地域ブランドの振興と関連産業の育成」

有識者委員要望等

- ・商工会館が田中商店街に移設した。現在観光案内所と会議等使用可能なスペースがある。集まりやすい場所なので有効活用してもらいたい。
- ・施策①の数値目標として新規創業件数を入れてはどうか。
- ・田中商店街の空き土地があるが有効活用の検討が必要である。
- ・施策②の具体的な施策は他の施策①と③に比べ非常に抽象的である。補助金や研修会、セミナー等の具体的なものを入れてはどうか。
- ・施策③について所管は農林課だけとなっているが、機械開発やコスト低減等の文言もあるので、商工観光課も入れてはどうか。
- ・上小地域の雇用状況は、この 20 年位長野県の平均有効求人倍率を超えたことがない。しかしながら最近の好転により有効求人倍率が 1 倍を超えてきている。毎月 1,500～2,000 人分の求人がある中、正社員の求人は 3 割程度しかない。現状の企業の力を上げ、定年まで勤められる雇用環境の整備が人の流出を防ぎ、人を誘い、また結婚でき子供が作れるということに繋がる。
- ・高卒大卒の新入社員の半数がこの地域外から入ってきている。情報化社会により地元以外の者が入ってきて、地元就職できない者が大勢いる現実を今後どのように分析していくか。

【質疑・応答】

有識者委員

どうやったら創業支援が出来るのか。具体的にはどう考えるか。

事務局回答

商工会と連携しながら事例を参考に検討したい。

有識者委員

コワーキングスペースは施策の①創業支援というより④多様な働き方の仕組みづくりが適切と考える。また、くるみワインの機械化等について開発するほどの市場規模はあるのか。

事務局回答

具体的なことは決定していない。今後生産者と工業振興会と協議し検討したい。

有識者委員

ビール麦の他にホップの栽培も検討したらどうか。

事務局回答

ホップも試験的に栽培しているので検討したい。

有識者委員

中小企業の支援はどう考えるか。土地や空き家の紹介システムがあれば利用したい。

事務局回答

中小企業融資利子補給等の制度があるので相談してもらいたい。土地は市有地しか斡旋出来ないが、今後の取り組みとして個人事業者の事業拡張に伴う利用可能な用地の調査等を実施していく予定。

有識者委員

施策③のクルミの2次製品の研究開発等で産業界や学校等に広く声をかければ、いろいろなアイデアが出てくると思う。

事務局回答

検討したい。

●基本目標 II 「とうみへの新しいひとの流れをつくる」

- ・施策① 「地域資源を活かした域内連携による交流の促進」
- ・施策② 「農山村交流の促進」
- ・施策③ 「I・J・Uターン移住者の誘導による定住の促進」

有識者委員要望等

- ・施策①の中に道の駅や温泉施設が出てこないが、何かの形で記載できないか検討してほしい。
- ・観光入込客数のKPIが938千人となっているが、5年だとすればもっと高い数字が見込めると思う。
- ・東御市の空き家バンクに登録してある物件は値段が高い。佐久市は価格帯が低いので比較されると勝てない。低い価格帯の物件も検討していただきたい。

【質疑・応答】

有識者委員

シティープロモーションは、年齢層等のターゲットを絞る必要がある。

事務局回答

現在ターゲットの検討中です。

有識者委員

東御市の戦略を知らせる方法として、若い人をターゲットにしたらどうか。(例えば高校に出向いて市の魅力をPRする)。

事務局回答

毎年、大田区の小学生が東御市で農業等の体験学習を行っている。それを通じて東御市に良い印象を抱

いて帰っていくという話を聞く。東御市を思い出してもらうためにも、大田区の高校生等にPRしていくことも1つの方法である。

●基本目標 III 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

- ・施策① 「結婚の希望をかなえるまちづくり」
- ・施策② 「出産の希望をかなえるまちづくり」
- ・施策③ 「子育ての希望をかなえるまちづくり」
- ・施策④ 「ワークライフバランスの実現」

有識者委員要望等

- ・多種多様な事業を実施していることや魅力発信について東御市内の女性だけでなく、銀座 NAGANO や大田区との交流の中で多くの方に周知願いたい。
- ・子づくりを考える時、一番重要なものは経済的な問題である。子育て世帯の税優遇を行いフランスの少子化は止まった。
- ・子育て応援ポータルサイトの開設にあたり、情報を一元管理し、その情報が捨てられない、どこかに落ちていかない対策を講じてほしい（保育園から小学校へ、それが高校まで上がっていくように）。

【質疑・応答】

有識者委員

施策③の中の特色ある子育て環境づくりの小中一貫教育について、具体的な取り組みがあれば教えていただきたい。

事務局回答

小中一貫教育については、北御牧地区は既に実施している。東部地区は平成 26 年度に準備を行い、今年度検討段階に入った。

有識者委員

目標値で出生数を掲げているが、合計特殊出生率は目標値としないのか。

事務局回答

東御市では今のところ合計特殊出生率は掲げていないが今後検討していく。

●基本目標 IV 「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、広域的な地域と連携する」

- ・施策① 「新たな視点で取り組む地域づくりの推進」
- ・施策② 「経済・生活圏の形成」
- ・施策③ 「住民が地域防災の担い手となる環境整備の強化」
- ・施策④ 「広域連携による経済・生活圏の形成」

有識者委員要望等

- ・地域の皆さんにどのような形でやる気を持たせるか、それに対して市はどのような対策を行うかが重要と考える。
- ・広域連携は県と市町村また市町村間の綿密な連携が重要である。ワイン特区のような先進的な事例の取り組みを記載できないか検討してほしい。